

国際交流基金助成事業報告書

薬学部 1年次生 由良 香雪

1. はじめに

この度、本学の国際交流基金の助成を受け、2019年3月4日～3月18日までの2週間、オーストラリアのNew South Wales州にあるTAFEという専門学校で薬学語学研修に参加したのでご報告いたします。

2. TAFE について

TAFEは大学ではなく職業訓練校のような所です。美容師になるために訓練をしていたり、マッサージ師になるため練習をしていたりする生徒を多く見かけました。私たちは午前中にEnglishクラス、午後にPharmacyクラスがありました。どちらも2つのクラスに分けて授業がありました。

Englishクラスでは、オーストラリアの自然や文化について英語を通して学びました。ホストファミリーに質問しないとわからないような宿題もあったので、ホストファミリーとの仲を深めることもできました。また、最終日にはPrimary schoolへ行き、子供達に日本の文化を英語でプレゼンテーションを行いました。

Pharmacyクラスでは、日本とオーストラリアの薬剤師、薬局、処方箋などの違いを学びました。オーストラリアの薬剤師は日本の薬剤師と異なり、注射ができるなど様々な点が異なっていることを知りました。最後のPharmacyクラスでは、実際にオーストラリアの薬局の見学もしました。

3. ホームステイ先について

私のホストファミリーはお父さん、お母さんと大学生の息子の3人でした。お父さんは趣味でバンドをしていて、ギターを聴かせてくれたり、ウクレレの弾き方を教えてくれました。お母さんはとても明るい人で毎日一緒に犬の散歩にビーチへ連れて行ってくれました。大学生の息子は日本にとっても興味があるようで、たくさん日本語で話しかけてくれて嬉しかったです。

週末にはByron BayやGold Coastといった観光地へ私を連れて行ってくれました。TAFEとはまた違った形でオーストラリアの素晴らしさを知ることができてよかったです。

初めはホストファミリーと2週間仲良く過ごすことができるか不安でしたが、最後の日にはもっと一緒に過ごしたかったと思えるくらいになりました。

4. 最後に

今回の留学を通して私はたくさんの貴重な体験をすることができました。私は今回が初め

での海外だったので、初めは海外に対して恐怖心がありました。しかしホストファミリーやTAFEの教師の方々をはじめとした、たくさんのオーストラリアの方々と触れ合い、話すことで、オーストラリアの魅力をたくさん知ることができ、もっと海外について知りたいと思うようになりました。それと同時に、自分は思った以上に英語を話す力を持っていないということも知りました。聞き取ることはできても思ったことをすぐに英語にしてそのまま伝えることはとても難しかったです。今後海外に行くことがあるならば、今回よりも意思疎通ができるようになっておきたいなと思います。

今回の留学で得た経験や学びを今後活かしていけるようにしていきたいと思います。



↑ホームステイ先近くの海 ↓ホストマザーと

